令和３年度　芦屋市立山手中学校＜教育目標・学校経営方針＞

校長　　大石　健二

◇校訓◇　たくましく、ゆたかに

- 進んで学びとろう
- 力を合わせて成し遂げよう
- 命を大切にしよう

◇学校教育目標◇　「豊かな心を育て　たしかな学力　たくましい体力を身につける」

～　一人一人を大事に　居場所のある学校　～

◇めざす生徒像◇

（１）主体的に学習に取り組もうする意欲あふれる生徒
（２）生命や人権を尊重し、互いを認め合い、思いやりのある生徒
（３）夢や目標に向かってチャレンジする生徒
（４）体力を向上させ、健康的に生きる自覚を持つ生徒

◇めざす学校像◇

（１）確かな学力を育む学校
（２）明るく活気があり、秩序ある学校
（３）生徒一人一人の良さを認め、居場所のある学校
（４）豊かな心と健やかな体を育む学校
（５）地域に根ざし、家庭や地域から信頼され、安心して生徒を任せられる魅力ある学校

◇めざす教師像◇

（１）教育に対する熱意と使命感をもち、わかりやすい授業で生徒に確かな学力をつけることができる教師
（２）学校経営への参画意識を持ち、組織人としての責任感・協調性を有し、互いに高め合う教師
（３）生徒理解に努め、共感的な態度で指導し、生徒一人一人を大切にする教師
（４）高い倫理観と人権意識を持ち、コンプライアンスの徹底を常に心がける教師

◇学校経営基本理念◇

学校教育目標の達成を目指しつつ、一人一人の生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の担い手となることができる生徒の育成をめざして学校経営を推進する。

そのためには、学校は地域の共有財産であるとの認識を持ち、教師のものさしだけではなく、地域・保護者の見方や考え方、生徒の視点やさまざまな思いを受けとめながら、信頼関係を構築し、豊かな感性に基づいた学びを実践し、教師力を磨いていく必要がある。

また、学校が教育を行う組織体として有効に機能するためには、教職員一人一人が学校経営に参画する意識を持つとともに、協働体制を築くことが必要である。互いのよさや持ち味を出し合い、そして助け合い、切磋琢磨しながら、チームとして躍動する『風通しのよい』組織づくりを大切にしたい。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策の１年になると考えている。状況をしっかりと把握し、生徒の健康・安全を第一に、今できる最善の方法を考えて教育活動を進めていく。

◇学校経営の重点◇

（１）学習指導の充実と指導方法の工夫・改善に努める。

- 「授業のきまり（時間・挨拶・礼儀）」を徹底し、基礎基本の定着・学ぶ意欲・態度の育成を図る。
- 新学習指導要領を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導の工夫・改善に努める。
- ＩＣＴ機器を効果的に活用し、生徒の興味や関心を高める授業の工夫を図る。
- 公開授業を通して、互いに切磋琢磨して授業改善及び指導力向上に努める。
- 家庭学習の習慣化を図る。
- 学習会の充実を図る。

（２）人権尊重の精神に立ち、寛容な心をもち、周囲に配慮した言動ができる生徒を育成する。

- 道徳の授業を始めとするすべての教育活動、行事等を通して、生徒に豊かな心と、他者に対する思いやりの心情を育む。
- あいさつや礼儀を大切にし、節度ある生活ができる力を高める。
- 全校及び学年の集団行動を通して、マナーを考えルールを守ることを習慣化する。
- 豊かな人格形成を培う道徳人権教育の充実を図る。

（３）生徒指導の充実を図る。

- 生徒指導部会の方針のもとに、生徒理解に基づく「組織的な生徒指導」に努める。
- 基本的生活習慣の確立を図る。
- 教育相談を充実させる。
- 不登校生徒の未然防止及び早期発見、早期対応に努める。
- 「いじめ」の兆候を見逃さない。情報の共有化を図る。
- 家庭・地域・関係機関との連携を図る。

（４）個別のニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。

・校内特別支援教育の一層の充実。（個別の指導計画の作成とそれに基づく支援の実施）
・関係機関との連携強化を図る。

（５）保健・健康・安全教育を推進する。

・保健・健康・安全に関する指導を積極的に行い、健康で活力ある生徒を育成する。
・自己の健康に関心を持ち、望ましい生活習慣に対する意識の向上を図る。
・施設設備の安全点検の徹底を図り、緊急時の安全対策を周知する。
・様々な災害を想定した避難訓練を実施する。
・食に関する指導を計画的に進める。（特に食物アレルギーの指導の強化）
・安心安全な学校給食の提供を行う。
・３密を回避して教育活動を推進する。
・マスク着用、手洗いの励行、咳エチケット等の基本的な健康マナーを徹底する。
・教室のこまめな換気や共有するドアノブ、手すり、スイッチ等の消毒を定期的に行う。
・家庭での検温や健康チェックカードの点検等による健康指導を継続する。

（６）学校と家庭、地域社会との連携を強化する。

・学校・学年便りの発行やＨＰの充実を図り、授業参観・懇談会、学校行事、地域の人たちとの会議等を通して教育活動への理解を得る。
・地域の人材活用を図るとともに、学校教育への理解を求める。
・学校行事には、保護者や地域に案内を発信し参加を求める。また、地域の行事へ積極的に参加し、協力を得る。
・地域の幼稚園・保育園や校区小学校との連携強化を図る。

（７）教職員の資質能力の向上を図る。

・校内研修会を充実させ、教職員の実践的指導力の向上を図る。また、校外研修や講演会への参加体制を整備する。
・コンプライアンス（法令遵守）意識を強化するとともに、服務規律の保持・徹底を図る。
・教職員の得意分野を生かす。
・学校のチーム力を高め、学校における働き方改革を着実に進める。
・これからの学びを支えるＩＣＴや先進技術の効果的な活用、教育課程の在り方などに検討を深めていく。